

第22回 iSUC 大津大会のご案内



GET iT!

知恵をつなげて力に変えよう



第22回 iSUC 大津大会

2011年10月19日[水] - 21日[金]

大津プリンスホテル | 滋賀県大津市 |

開催目的 / IT技術研鑽、人材育成、参加者交流、地域交流を通しての社会貢献
大会テーマ / 「GET iT! ～知恵をつなげて力に変えよう～」

申込期間 | 2011年7月21日[木] 9:00～10月3日[月] 18:00

参加費(税込) | ※大会参加費、1日目夕食、2・3日目昼食代を含みます。

会員 60,000円 (特別割引) 50,000円 (9月16日(金) 18:00までのお申し込み分)

非会員 65,000円

主催 / 全国IBMユーザー研究会連合会 支援 / 日本アイ・ビー・エム株式会社

iSUCで“活きた知識”や
“新しい人的ネットワーク”をGET!

大津大会は、
セッションが変わる!
モールが変わる!
情報交換会が熱い!

湖都・大津で開催

第22回 大津大会のテーマは、「GET iT! ～知恵をつなげて力に変えよう～」です。

iSUC(アイザック)に参加して、活きた知識や人的ネットワークなど、明日からの自分の“糧”となるものを必ず持ち帰っていただきたい、という思いがそこに込められています。また、今回の震災という未曾有の災害を通じて得た教訓を知恵にして、それを大きな力に変えていければ、とも考えています。皆様の知恵をiSUCの場でつなげていきましょう!

さらなる改革を

昨年は、iSUCの長い歴史を踏まえつつも、それにとらわれることなく、iSUCのさらなる価値向上を目指して「地域交流を通じた社会貢献」という新しい試みにチャレンジしました。

今年はこの社会貢献だけでなく、iSUCの大きな柱のひとつである“参加型セミナー(セッション)”で、大きな改革をします。講師と参加者が双方向に意見交換できるインタラクティブなセッション“iSUC白熱教室”がそれです。これは講師と受講者、受講者と受講者というように、その場にいる者同士、双方向に意見交換できるインタラクティブなセッションです。参加したからこそ得られる、ホットな情報を入手してください。

また“IT展示会(iSUCモール)”も、参加していただく皆様にとって価値あるものになるよう、大きくその内容を見直しました。

リアルな空間で、息づかいの感じられるリアルな議論を交わし、リアルな友と交流しませんか。iSUC大津大会に参加していただいたあなたにしか得られないものを、たくさん用意してお待ちしています。

くわしい案内とお申し込みは、
iSUCホームページから

iSUC

検索

<http://www.uken.or.jp/isuc/>

随時更新されます。ブックマークして、定期的にチェックしましょう。

第22回 iSUC

実行委員長

丸谷 哲司

(株)コンサルトファーム



iSUCは、

全国IBMユーザー研究会連合会

IBMのユーザー団体が主催する

IBMシステム・ユーザーのための研修会です

iSUC(アイザック)は、3日間で集中的にスキルアップを図り人脈を広げることができる、IBMシステム・ユーザーのための研修会です。

1990年10月、静岡で第1回のiSUCが開催されて以来、毎年秋に開催。延べ2万5000人以上の情報システム部門担当者・管理職、一般ユーザー、CIO、経営者の皆様に参加いただいています。昨年の新潟大会では、「活かした専門知識の獲得」や「人的ネットワークづくり」に役立つと、参加者の皆様から「92.21ポイント」という高い満足度評価をいただきました。

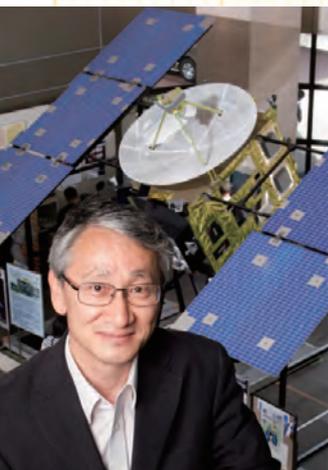
3日間で合計100コマ以上の「参加型セミナー(セッション)」があり、さまざまなIT活用技術をはじめ、貴重なIBMユーザーによる生の事例紹介、ここでしか手に入らない最新のIBM技術情報をお聞きいただけます。また「情報交換会」では、企業や年齢の壁を越えて、社外の、また異業種の情報システム部門のメンバーと幅広く交流できます。大会期間中、会場には「IT展示会(iSUCモール)」も併設され、最新のソリューションに触れられます。

小惑星探査機「はやぶさ」のプロジェクト・リーダー

JAXA 川口 淳一郎教授

「はやぶさ」が実証した地球引力圏外の天体へ着陸し、往復して帰還した宇宙飛行は、人類未だの挑戦でした。「はやぶさ」は、昨年6月13日、その宇宙飛行を終え、オーストラリアのウーメラ砂漠地帯に帰還。試料回収カプセルを無事降下・回収することに成功しました。

「はやぶさ」は、その飛行中、数々の故障や困難に直面しましたが、プロジェクトのメンバー全員がよくそのミッション目的を共有し、そして高いモチベーションを持って率先して取り組んだことで、地球への帰還に成功しました。この講演では、打ち上げから帰還までの7年間の飛行運用を振り返り、いろいろな局面で得られた苦心や教訓を紹介するとともに、成果を次世代へつなげる方法、新たな構想を立ち上げるのに必要な取り組み方などについてお話しいただく予定です。



「基調講演」講師は

今年のiSUCは、大きく変わります!

セッションは、「BCP・災害対策」「クラウド」「モバイル」「IBM i」など、注目のキーワードでさらに充実

「IBM i」や「クラウド・コンピューティング」「プロジェクト・マネジメント」などの人気キーワードの定番セッションに加え、「BCP・災害対策」や「スマートフォン/モバイル」「スマートグリッド」など、今、注目のキーワードがテーマのセッションも充実させます。3日間で100コマ以上。若手・中堅社員はもちろん、CIOや情報システム部門長の方にも満足していただける幅広い内容のセッションが盛りだくさんです。(下記は現段階の案で、実際に開催されるセッションの内容とは異なる場合があります)



【ビジネス/インダストリー】業界に特化した事象や業界特有の動向、法律、規則/新規顧客の獲得・維持

●例) J-SOX法・内部統制、情報漏えい対策 など

【経営戦略】経営戦略、経営管理、人材育成、営業改革/イノベーション/経営の見える化/事業継続性

●例) 新商品・サービスの開発、BA(Business Analytics)/BI、BCP など

【手法・方法論】業務を遂行する際に必要とされるその手法や方法論、解決方法/モチベーションマネジメント/アジャイル/プログラム自動生成

●例) プロジェクト・マネジメント、EA、開発工数見積り、状況報告する手法EVM など

【テクニカル】クラウド・コンピューティング、最新技術動向、開発技術、スマートフォン(モバイル)

●例) IBM i 最新動向、クラウド、iPhone/Android、Java言語 など

【一般教養】専門知識の基礎としての広い教養、自己啓発 ●例) 開催地を学ぶセッション など

ただ聞いているだけではもったいない。自分も話したくなる新しいセッション iSUC白熱教室

今年のセッションは、旬の情報を得られるだけではなく、これまでの全員参加型セッション「わいわいセッション」を大きくバージョンアップした「iSUC白熱教室」が誕生します。これは単にセッションを開くだけでなく、講師と受講者、受講者と受講者というように、その場にいる者同士、双方向に意見交換できるインタラクティブなセッションです。例えば、ユーザー事例を踏まえてのディスカッションなら、「一番苦労したのはどこか?」「やり直すとしたらどこか?」「うちの会社ではこうしている」といった「ここでしか聞けない」iSUCならではの話も飛び出すかもしれません。60分間椅子に座って、講師の話を一方向的に聞くだけではもったいないと思う方、大歓迎です。



とにかくすごい iSUCモール!

「今年のモールは、何かが違う」をキーワードに、iSUCモール(IT展示会)が大きくパワーアップします。今年の目玉は、「モールセミナーハウス」。心・技・体をテーマにモール独自のセミナーを開催します。

また、会場前のオープニングステージでは、地元関連の芸能やエンターテインメントを楽しんでいただける「モール祭り」も常

時開催。いつ行っても、何度行っても面白い、そんな今年のiSUCモールにご期待ください。この機会に、iSUCモールへの出展もご検討ください。

【問い合わせ先】iSUCモール事務局 [ユタカ(株) 担当/牛島]
☎(03)5479-8361 ✉ushijima@yutaka-inc.jp

さらに熱い 情報交換会

大会初日の夜に開催される「IES」は、全員参加型の情報交換会です。立食パーティー形式のカジュアルな雰囲気の中で、参加者同士、そしてセッション講師やIBM役員の皆さんと話すことができます。

普段触れ合うことの少ない、異業種の仲間と知り合える絶好の機会です。新しい人脈を形成することで、人間の幅が広がり、あなた自身の成長につながっていくことでしょう。たくさんのお名前を覚えて、ご参加ください。

